

展望ポイント ゾーニングを確かめよう

琵琶湖を見渡せる

展望ポイントから琵琶湖を一望。夕日も絶景!



2



分岐点にある地図を参考にしよう。

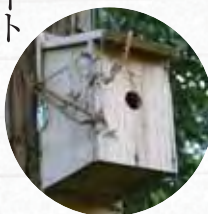
堀切港 バス停からスタート ちよつと急な尾根道へ...

「伊崎国有林ハイキングコース」入り口。



1

「堀切港」バス停の目の前がハイキングコースの入り口です。「伊崎国有林カワウと人の共生の森プロジェクト」の詳しい説明板があり、地図もあるので要チェック。丸太階段を少し登ると尾根道と湖岸の中腹歩道が分岐しています。今回は尾根道を縦断します。



三角点 山頂付近の分岐点

アップダウンを重ねて進むと、湖岸の遊歩道へ続く分岐、さらに伊崎寺への分岐に到着。このあたりが伊崎山の山頂に最も近い。現在、三角点への道はなく、山の斜面は足もとが悪いので通行不能。どうしても三角点を探したいという方は、十分に注意を払ってください。

伊崎山の三角点。



3

伊崎寺への分岐点。

迂回路は「滋賀森林管理署」のテープが目印。

伊崎寺から 迂回して湖岸の遊歩道へ



伊崎寺の竿飛堂(さおとびどう)から湖にのびる竿。



4

分岐点から伊崎寺を目指します。参道に出て本堂の奥へ進むと、伊崎の竿飛び(毎年8月1日)で有名な竿が湖に飛び出しています。庫裏が工事のため境内から続く湖岸の遊歩道は通行止め。先のコースへ戻り「滋賀森林管理署」のテープを目印に迂回します。



伊崎国有林 散策マップ



- ◆山行日/09年12月10日
- ◆天候/曇り
- ◆歩行距離/約4km
- ◆総時間/約3時間(休憩・散策含む)
- ◆難易度★(ビギナー向け)

カワウが生息する 湾岸の道をぐるり...

苗木を守るための試みもいろいろ。

湖岸の遊歩道をまわり「カワウが生活できる森」に入ると、糞の落下注意を促す看板が出現。「カワウ被害植生回復の森」では、カワウの枝折りから苗木を守るために筒や網をかぶせている光景も。尾根道の出合から湖岸の細い道へ入り、スタート地点に戻ります。



5

湖岸の中腹歩道から見る堀切港。



展望ポイントから北の入り江を望む。ゾーニング(棲み分け)の説明板と重ね合わせて風景を眺めてみると面白い。

伊崎山 (いさきやま)

近江八幡市

カワウと森林の共生を図る
伊崎国有林ハイキングコース。

カワウの繁殖による竹生島の景観被害は広く知られています。カワウは巣つくりの際に木々の枝を折る習性があり、さらに糞の付着などによって森全体が枯死してしまうのです。

近江八幡市の伊崎半島も同様にカワウの被害に悩まされています。有害鳥獣として駆除もやむなし...と考えがちですが、当地では現在「伊崎国有林カワウと人の共生の森プロジェクト」が実施されています。これは半島を3つのゾーンに分けて、自然生態系を崩さずに共生できる森づくりをしようという試み。半島西部の湾岸に「カワウが生活できる森」を設け、「カワウ被害植生回復の森」は枯死した木を伐採し、苗木を植えて回復を図ります。半島東部は「カワウの被害から守る森」です。

森全体にハイキングコースが設けられているのも、人が歩くことによって、カワウが嫌がって巣を作らないことから、湾岸の「カワウが生活できる森」に押し込めるためとか。私たちが歩くことで森林保護にも役立つわけです。

伊崎山(標高210.4m)の尾根道を縦断し、半島をぐるり一周しても2〜3時間程度。伊崎寺をめぐる、琵琶湖に浮かぶ沖島、湾内をゆきかう漁船の姿を眺めながら、カワウの問題にも関心を寄せてみましょう。

ひとくちメモ

これからカワウの繁殖期へ—— 滋賀森林管理署からのアドバイス

カワウが集まる場所は、繁殖期は「コロニー」、繁殖期以外は「ねぐら」と呼びます。繁殖期は2〜10月(特に多いのは3〜7月)で、梅雨時期は山全体がカワウの糞のにおいで臭く、マスクなど持参した方がいいでしょう。11〜1月にかけては500羽程度が越冬。昼間は餌取りに行っており、夕方3時以降でないとカワウの姿は見られません。



カワウの糞が落ちてくるかも...

A C C E S S & M A P



- JR「近江八幡」駅から「休暇村」行きバスで約30分「堀切港」下車。※1日5便のみ。時間要確認。

「伊崎国有林ハイキングコース」リーフレット設置場所
近江八幡市商工観光労政課
☎0748-36-5517
休暇村近江八幡東館
☎0748-32-3138
滋賀森林管理署
☎077-544-3871

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/shiga/>

※滋賀森林管理署のホームページからリーフレットが印刷できます(「カワウ被害防対策」をクリック)。

※山行の際は、国土地理院発行の正確な地図(2万5千分1地形図など)をご使用ください。※標高は国土地理院地形図の数値を採用。